

# 人間工学にもとづいた 画期的ソックスを新開発

企画力  
自信有  
オンリー  
ワン技術  
メイド  
イン  
ジャパン  
量産  
対応



優しい履き心地のL字型ソックス

## 業務内容

独自の形状のソックスで  
好調な売り上げをキープ

人の足首と甲の角度は直角なのに、なぜ靴下は直角に編まれていないのか——。そんな疑問から生まれた新発想の靴下が「L字型ソックス」である。当初は(株)システムデザインがスタートさせたこの事業だが、製造技術を担う(株)ホリホックと共に、合弁会社となる同社を設立。事業統括・営業を新会社が担い、企画・商標管理をシステムデザインが、製造をホリホックが行う連携体としてL字型ソックス事業を進めてきた。海外製品の流入と低価格化に悩まされる靴下メーカーが多い中、順調に出荷数を増やし、昨年には加古川にある製造工場に新規設備投資を実施。年間10〜15万足分を増産できる体制を新たに整備した。

## 強み

他社に真似のできない  
高度な編み技術を有する

従来の靴下は、編み機の特性に従い直線に近い筒状に編まれている。それに対しL字型ソックスは、足首部分を直角に編み上げるのが特長。同社ではイタリヤ製インターシャ編機を使用し、ゴアラインを深くすることで直角の形状をつくることに成功した。足の形状に合った靴下であるため、着用時の圧迫感は劇的に軽減した。また、段階的にゴムで固定されているので履き口のゴムは不要で、歩行を重ねてもズレないのもポイント。人間工学にもとづいた形状が、さまざまなメリットを生み出しているのだ。

## 営業方針

OEM生産の拡充と  
自社ブランドの普及を

現在の販売展開は、主にOEM生産と自社ブランド販売の2本柱だ。OEM生産では、他の靴下メーカーやアパレルブランドとのコラボを積極的に行っている。状況に合わせてWネームの商品等を発表しつつ、「L字型靴下」自体の認知を広める狙いだ。一方で、オリジナルブランド「ラソックス」も並行して展開。マールブル状にカラフルに染め上げるタイダイ染めの商品や、ずれにくいブーツソックス等、主に女性を対象とした新商品開発を継続中だ。



自社ブランドの新商品も展開

## 今後の展望

より幅広い分野において  
技術の可能性を試したい

「3社のネットワークをフル活用しつつ、今後も積極的にOEM生産を受託したい」と本川営業部長。展示会等にも積極的に出展し、パートナー探しに奔走する。

近年では、履かせやすいメリットを活かし、医療・介護向け商品の開発にも着手。スポーツブランドとの取引も拡大中だという。「ゆくゆくはすべての靴下をL字型にしたい」と笑う本川営業部長だが、世の中の認知度がさらに高まれば、夢が現実になる日もそう遠くないかもしれない。

## COMPANY PROFILE

### ラソックスジャパン株式会社

大阪  
24



当社は平成21年に、企画担当の(株)システムデザインと製造担当の(株)ホリホックから人材を集めて設立されました。市場調査や企画の段階から3社で連携を取り合うことで、独創的な商品企画と高いクオリティを実現しています。とにかく靴下を手にとって試していただくのが一番。履き心地の違いを実感してもらえれば、商品に自信を持って攻めの姿勢を貫きたいですね。

商品さえ良ければ、営業せずとも自然と注文は入るもの。そんな状態が理想です。

取締役営業部長 本川 政明さん



#### ■主な事業内容

L字型靴下の営業・企画・販売等

#### ■主な取引先(納入先)

アパレルメーカー、スポーツメーカー、百貨店、アパレル卸、雑貨卸、通販業者等

住所 / 〒541-0057  
大阪市中央区北久宝寺町  
4-2-10 東明ビル6F  
TEL / 06-6243-0066  
FAX / 06-6243-0061  
創業 / 平成21年6月  
設立 / 平成21年6月  
資本金 / 1,000万円  
従業員 / 6名

<http://www.rasox.com/>